

# 相談診療に力を

上原由美子さん（42歳・松本市在住）

勤務初日の様子。患者の話を丁寧に聞く。



信州大学医学部を卒業後、静岡県富士市立中央病院、千曲中央病院などを経て、この10月から三郷小倉の小倉診療所に勤務している上原由美子さん。新しい任地での仕事についてお話を聞きました。

### 小倉診療所に赴任した理由は？

この9月まで千曲中央病院の健康管理センターで、主に健康診断や人間ドックなどを担当させていただき、年間8、000人ほどの診断をしてきました。この仕事もやりがいがありました。どちらかと言うと、受診されている皆さんとの関係が一方通行で、私自身が深く考えることをしなくなっているような気がしていました。一人ひとりの患者さんに対して、きめ細かく対応し、治療に対しても一緒になつて考える時間がとれるような仕事に戻りたいと考え始めたとき、この話を伺い、お受けすることにしました。

### 多くの健康診断の間診をされてきて、感じることはありますか。

集団検診と言うと軽く見ている人もいますが、生活習慣病のチェックには大変有効です。また、残念なことですが、健康診断などを受けっぱなしという人も大勢いらっしゃいます。問題はその結果をご本人がどうとらえるかです。やはり最後

かつたことがあります。それ以来、食事は特に気をつけて作るようになりましたし、休養も十分に取ることの大切さを意識するようになりました。

皆さんも仕事が大変になると、体が不調を訴えることがあると思います。私のように消化器系にきたり、心臓だったり、その症状はさまざまです。人間どこかには弱いところがあるので、そこに悪い症状が現れます。ご自分の体と相談し、時には、仕事量のコントロールをすることも必要です。体を壊しては何もできません。

### 地域の皆さんに一言

医師もいろいろで、やり方もそれぞれです。私は問診に時間をかけるタイプです。どうぞ何でもお聞きください。お話を伺う中で見えてくることが多いのです。特に始めのころは時間をとらせていただきたいと思います。診療所も限られた機材の中での診療となりますから、相談診療を中心にと考えています。

10月2日から診療が始まっています。

診察日 月・水・金の週3日

診察時間 午前9時から正午

夏 午後2時30分から6時

冬 午後2時から5時30分

やはり最後には、受診者自身が行動しないと何も変わりません。

## 自分の体と相談し、時には、仕事量のコントロールをすることも必要です。

←診療所を支えるスタッフの皆さんと。「どうぞ何でもお聞きください」



は、ご自分で行動しないと何も変わりません。以前、健康診断で喫煙のことを指摘した年配の男性から「先生のせいだタバコをやめた」と言われたことがあります。前年の診断時、私がよほど気に障る言い方をしたのか、その男性は、受診の帰り道に、持っていたタバコを投げ捨てて、それ以来吸っていないとのことでした。ちよつと複雑

な気分でしたが、とりあえずやめられて良かったですね、とお互いに笑いながらお話しすることがありました。

そんなこともあれば、毎年同じようなお話をして、問題点を指摘をさせていただいても、全く何もしていただけないという受診者もいます。こんな場合は、どうすれば良いか考えてしまいますし、悲しくもなります。

### 「ご自身も体を壊されたことがあるそうですが、」

数年前、過労により、消化器系の病にか